

# 2025年度 自己評価及び教育評価委員による評価書

2026.3

ひかり幼稚園

## 1. 教育目標

- キリスト教保育による心の育ちを大切にする（見えないものを大切にする[心・命・絆]）
- 自ら育つ力を守り、一人ひとりを大切にする
- 他者を認め、仲間と共に育つ心を大切にする

## 2. 年主題

『おいてかない～みんなでおもいあう～』

- どンドンと物事が進み決まってく中、わからないことや戸惑うことがある時に、その人たちを置いてけぼりにするのではなく、その人たちの思いも聞きながら歩んでいきたい。
- 子どもたちの中にも、集団に入ることが難しい時があったり、自分の思いをなかなか出せない場面がある。そんな時に周りの仲間が「おいてかない！」と振り返り、思ってくれることで一人じゃないと感じられる。
- 子ども・保護者・教師・地域の人とも誰一人として置いていかず、お互いを思いながら過ごしたい。

## 3. 自己評価結果に対する教育評価委員の評価

| 項目          | 内容   | 自己評価   |   | 委員による評価  |         |
|-------------|--|--|---|----------|---------|
|             |  | 達成状況   | 改善の方策   | 自己評価の適切さ | 改善策の適切さ |
| 教育課程        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・園の教育課程や年主題を理解しているか。</li> <li>・職員間で子どもに対する共通理解を持っているか。</li> </ul> | B  | 今年度の年主題は分かりやすく、意識しながら保育に臨むことができたが、保育に携わっていない職員も含めた全職員で思いを合わせたい。学期末の評価会時などに、年主題に対する現況や課題を定期的話し合う時間を作りたい。<br>子どもの共通理解に関しては、毎日行っている打ち合わせや会議、クラス会議や学年会議などを丁寧に行ってきた。各々の会議内容を全体で共有しながら、より細やかな子ども理解に繋げていきたい。 | B        | A       |
| 教育評価委員による意見 |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・誰もが分かりやすく、忘れない、とても印象に残る主題である。それが逆に、理解に悩む職員もいるのだと分かった。</li> <li>・どの先生と話ししても共有されている。日々の打ち合わせや会議が丁寧に行われていると思う。</li> </ul>   |   |          |         |
| 安全管理        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・事故等の緊急時対応や安全点検も含めて、安全に配慮して保育をしているか。</li> </ul>                   | B  | 今後も、応急手当講習を定期的を受け、事故発生時の動きを繰り返し確認していくことが必要である。毎月行っている安全点検を通して様々な対策を考えてきたが、点検の仕方や頻度、項目については改善の余地があると感じる。研修などを受けながら、積極的に情報を取り入れていく。   | A        | B       |
| 教育評価委員による意見 |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちのために、充分安全に配慮しながらも、とてもものびのびと保育できていると感じる。</li> <li>・教員だけではなく、第3者からの意見を取り入れることも重要である。</li> <li>・応急手当講習や安全点検など、安心して生活できる環境づくりに努めていることがわかる。「玄関の安全管理」について明記している方が数名いたので、気になる点については改善してほしい。</li> </ul> |   |          |         |
| 保育内容        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員間の連携を図り、子どもに対して適切な対応をしているか。</li> </ul>                         | B  | 職員間での話し合いを大切に行うことで、全職員が一人ひとりの子どもを多角的にとらえられるよう意識している。望んでいる子どもの姿や、そこに向けての手立てをさらに深めていくことで、職員間での共通意識につなげ、全職員の子どもの思いを統一できると思う。   | B        | A       |

|                       |                                     |  |   |   |   |
|-----------------------|-------------------------------------|--|---|---|---|
| 教育評価委員<br>による意見       |                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の勤務体制によっては連携が難しいだろうが、工夫されていると思う。</li> <li>・先生たちの連携がよくなされており、子どもの様子を把握し、一人一人に合った対応を考えていると感じる。</li> </ul>  |   |   |   |
| 保<br>健<br>管<br>理      | ・日々の園児の健康状態を把握し、一人ひとりに合わせて保育をしているか。 | A  | 子どもの体調や様子から違和感を感じた時は、複数の職員で連携を取りながら状態を把握するよう努めている。今後も小さな変化に気付くことができるよう、一人ひとりを注視し、職員間で情報の連携を図る。また、保護者の方から子どもの状態を聞き取り、職員間で共有することを丁寧に続けていく。  | A | A |
| 教育評価委員<br>による意見       |                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの変化に、すぐに気付こうという姿勢が感じられる。</li> <li>・玄関で子どもを迎える際に、子どもの様子がいつもと違う時には声をかけていて、「子どもの小さな変化に気付くことができるよう、一人一人を注視する」という思いが伝わる。</li> </ul>  |   |   |   |
| 行<br>事                | ・行事は、子どもの思いが感じられる取り組みをしているか。        | A  | 子どもが自分の思いを出しながら、みんなで一緒に創り上げる活動を今後も大切にしていきたい。そのために、教師主導になっていないか、園内の職員同士で保育を見合いながら改善点を出し合ったり、第三者からの視点をいただいたりなど、他者評価を取り入れることで、さらに子どもの思いが輝く行事を目指したい。                                  | A | A |
| 教育評価委員<br>による意見       |                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・行事は子ども主体で、先生方も一緒に楽しむことができている。</li> <li>・特に表現活動においては、他園ではなかなか見ることができないのではないかと感じるほど、「子どもの思い」が大切に表現されている。</li> </ul>  |   |   |   |
| 研<br>修                | ・保育の質の向上のために、園内・園外研修が活かされているか。      | B  | さらに質の高い保育を目指すために、積極的に情報を手に入れ、自分事として捉えながら身につけていきたい。研修で学んだ内容は、パート職員も含めた全職員で共有することで、園としての底上げを目指していく。   | B | A |
| 教育評価委員<br>による意見       |                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・常に、「これでよい」ということなく、質の向上に向けて取り組んでいると思う。</li> <li>・どんな研修を受けたのが保護者にも伝わると、考えていることを認めてもらえると思う。</li> <li>・園内外での研修を通して保育の質の向上に努められており、その学びを日々の保育に活かそうとする姿勢が伝わる。</li> </ul>   |   |   |   |
| 保<br>護<br>者<br>対<br>応 | ・保護者に保育を理解してもらおう工夫をしているか。           | B  | 今後も、保護者の方に、子どもの様子や保育内容を直接お伝えすることを大切にしていきたい。合わせて、掲載した写真を通して普段の様子を見ていただいているが、より子どもたちの様子が伝わるよう、活動内容やあそびの状況を詳しくお伝えすることを意識する。また、保護者の方からいただくご要望や困りごとを取りこぼすことなく丁寧に受け止め、誠実に対応することを意識していく。 | A | A |
| 教育評価委員<br>による意見       |                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者と共通理解に向けて、たくさんの取り組みをされていると思う。</li> <li>・保護者の理解が増えれば、幼稚園の評価に直に伝わると思う。</li> <li>・保護者に対しても保育内容を伝える工夫がなされ、理解と信頼の構築につながっていると感じる。子どもたちのやり取りに対する先生の見守りと、声掛けの方針などを保護者に伝える機会が増えると良い。先生と直接話をするに苦手意識がある保護者や、時間がなくて声をかけられない保護者のために、他の伝達手段があると、より一層相互理解につながっていくと思う。</li> </ul> |   |   |   |
| 連<br>携                | ・地域や学校、デイサービスとの相互関係があると思うか。         | A  | 小学生やデイサービス、地域の方が、園の行事を見に来てくださることで、子どもたちの姿や幼稚園のことを知っていただく機会になると思う。確実に交流の機会は増えているため、今後も連携を広げていきたい。今後は、お互い相談し合える関係作りを目指すため、より交流の時間を重ねながら情報を共有していく。                                   | A | A |
| 教育評価委員<br>による意見       |                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校やデイサービス、地域との信頼関係が築けていて、よりよい交流を持っていると思う。</li> <li>・今年度は行事への招待などで、連携がなされていたと感じる。今後もさらに連携が広がっていくことに期待したい。</li> </ul>  |   |   |   |